



HPVワクチンの長期副反応に対する治療法はあるか
【庶民】岸 圭介

Q HPVワクチン接種後症状に対する95の協力医療機関では、長期にわたる副反応に対する治療法が確立しているのか。

A 【健康づくり担当部長】現在、協力医療機関など診療体制は整備されているが、HPVワクチン

接種後の長期にわたる副反応いわゆる多様な症状に対し、完全に確立した治療法はない。治療は主に症状の緩和に焦点が当てられており、根本的な解決にはつながらない可能性がある。

大山保育園の統廃合について
地域との意見交換は
【志政会】前田 秀資

Q 地域との意見交換等の必要性をどう認識しているか。

A 【こどもみらい部長】統廃合を進めるに当たり、在園児の保護者に対し、6月に意向調査実施後、説明会を実施した。意向調査の回答や説明会当日の質疑応答などから、大半の保護者は統廃合の必要性等について理解いただいたものと認識しているが、一部の方からは統廃合の進め方や公立保育所の在り方といった視

点からの意見があった。その内容も踏まえ7月に大山地区自治会定例会にて統廃合の方針について説明したところ、統廃合そのものよりも地域の公共施設が減少していくことに関連し、主に大山地域全体の将来を心配する声も寄せられた。今後、保護者の意見や要望等に丁寧に対応していくとともに、必要に応じて個別または全体で説明する機会を設けていきたいと考えている。



児童生徒一人ひとりに合った学びの多様な学校について
【いせはら為成会】八島 満雄

Q 現在の学校制度を児童生徒に合った教育としていくため、先進的な取り組みを行う学びの多様な学校から本市が学ぶことはどのようなものか。

A 【学校教育担当部長】これからの学校の在り方として、学びの多様な学校における教員と児童生徒との関わり方や、柔



第8回線引き見直しについて
【志政会】米谷 政久

Q 都市計画道路の第8回線引き見直しにおいて、途中まで進んでいる西富岡馬渡線が主要幹線道路から外されたのか。

A 【都市部長】第8回線引き見直しにおける「都市計画区域の整備・開発及び保全の方針」において、本路線は、多様な交流を支え、道路ネットワークの効率性を高めるための主要幹線道路として配置し、前回と同様の位置付けをしている。その



高齢者の入居を促進させるための方策について
【いせはら為成会】越水 崇史

Q 高齢者向けの賃貸住宅について、一定のリフォーム費用を補助するなど高齢者の入居を促進させるような方策はあるのか。

A 【保健福祉部長】高齢化や単身世帯の増加、持家率の低下等に伴い、住



新規返礼品の開拓と返礼品を通じた魅力発信の取り組み
【いせはら為成会】大山 学

Q 新規返礼品の開拓への取り組みや、ふるさと納税を地域の魅力発信のツールとして活用する考えについて。

A 【企画部長】新規返礼品の開拓に向けては、提



ふれあいミニデイ推進事業の評価・今後の方向性は
【進風会】山田 昌紀

Q ふれあいミニデイ(サロン)について、評価及び今後の方向性について。

A 【保健福祉部長】評価としては、ふれあいミニデイ(サロン)へ通うことにより、脳への刺激や身体を動かす機会が増え、フレイル(虚弱)予防や認知症予防につながっていることを認識している。



買物支援の取り組み状況について
【志政会】多田 巖

Q 本市の買物支援の取り組み状況を伺う。

A 【保健福祉部長】一部の自治会では公共交通機関のバスを乗り継いで買物困難となった方々を対象とし、5月から買物バスの試験運行を開始したところである。また、介護予防教室や認知症カフェの参加者を対象とした送迎について、介護事業所が社会貢献事業の一環とし、送迎車の空き時間を活用し対応している事例もある。



アクティブシニア世代の社会参加促進を
【いせはら未来会議】橋田 夏枝

Q アクティブシニア層の地域活動への参加を促進するための具体的な施策について。

A 【保健福祉部長】各種活動団体が保有する情報を一元化するプラットフォームを整備し、さらには個人の意欲や能力に応じたマッチング機能を導入することは、社会参加への第一歩を踏み出すきっかけとなり、非常に有効な手段の一つと考えている。この仕組みにより、

者のみならず、子どもや障がい者なども参加できる場の創出についても検討していきたい。

【その他の質問】
◎本市の歴史・文化・芸術分野における取組について

引き続き地域住民主体の支え合いにより住民が安心して暮らせる地域づくりを目指し、生活支援体制整備事業における第2層生活支援協議体と、地域全体を包括的にコーディネートする第1層協議体との連携を図り、市を含めた関係者全体で各地域の特性に応じた具体的な取り組みを検討していく。

【その他の質問】
◎こどもみらいプラザについて

趣味のサークル、ボランティア活動、また地域コミュニティなど、幅広い選択肢を提供することが可能となり、一人一人に適した活動を容易に見つけられる環境を構築することが期待できる。

現在、本市においては具体的な取り組みはなく、各所属団体等により、さまざまな周知活動が進められている。各地域の先進的な取り組み事例等を参考に、情報の一元化に向けた研究を進めていく。